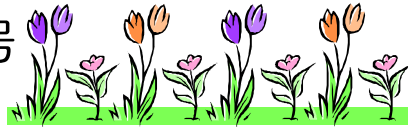


特定非営利活動法人 福祉サポートセンター

さわやか愛知

ふれあいニュース 5月号



発行所 所在地

〒474-0074

大府市共栄町二丁目 420-1

TEL : 0562-47-2893

FAX : 0562-45-4787

↓ホームページ見て下さいね↓

http: sawayaka-aichi.com

日野原重明氏の「ホームケア・アソシエント」

理事長 川上 里美

さわやか愛知主催の「ホームヘルパー養成研修（2級課程）」が今年度も通信・通学共に始まりました。ガイドヘルパー福祉用具専門相談員他の講座を含め修了生は4150余名となり、多くの方は福祉関係のお仕事等に従事されています。また、さわやか愛知ではホームヘルパー2級養成講座の基礎編の他に、介護技術レベルアップのため「在宅医療の実践」「緊急時に対応できる介護職員」等の講座を開講し修了生の皆さんや近隣地域の福祉関係者の方々に告知し日々研鑽していただいています。

ヘルパー講座の前身は日野原重明氏が30年前（1976年）に開講した「ホームケア・アソシエイト養成講座」と言われています。日野原氏は開講するにあたり授業内容に『アソシエント』と『医学的基礎知識』が最も重要だと唱え授業時間数を多く取り入れています。アソシエントとは「協働者」という意味で、もともとは家族の健康管理を担う主婦に、血圧の測り方をマスターしてもらおうとスタートされたそうです。介護とは本人と家族の協働でしかもセルフケアを中心に考えるべきで、ヘルパーはそのお手伝いにすぎない、ともすれば本人ができることまで代わりにしてしまいがちでよくない。こうやって歩いてみたら、こういうふうには持てば自分で食べられます。また、どういう姿勢だったら誤嚥せずに食べられるか、万一誤嚥してしまったらどうやって助ければよいか、お風呂に入れなくてもどうやったら身体を清潔にできるか。介護を受ける本人や家族にも自分で行動することの大切さを、お手伝いするヘルパーに指導してほしいという考え方です。

日常の健康を保つお手伝いをするのが介護ですので、そこに携わるヘルパーは正しい医学的知識や看護の臨床能力の勉強が必要です。

さわやか愛知の開講する講座のすべてに「アソシエイト」の考え方を根底において、自立介護支援の学びの場として、地域のお役に立てることを切望しています。

* 日野原重明氏（聖路加国際病院理事長・笹川医学医療研究財団理事長等歴任）

六月十五日(日) 総会・全体会・交流会開催お知らせ
交流会ではビンゴゲームや会員の皆様の
一芸展示や発表を行います。
募集：ビンゴゲームの賞品
一芸発表や展示をして頂ける方
締切：五月十五日迄 担当 竹野 島田

高齢者虐待・成年後見制度について

虐待を未然に防ぐ事が出来る事を学びました

真剣に講義に聞き入る受講者の方々



問題形式で介護をしている立場から、問題に直面した時や疑問のある時などにどう対応するのかを話し合いました。
成年後見制度についても詳しく教えていただきました

3月ヘルパーさんフォローアップ研修

★包括支援センターの方講師としてお招きしました★